

「ワールド・ビジョン・ジャパン意識調査」の概要

2014年8月31日

特定非営利活動法人

ワールド・ビジョン・ジャパン

○調査方法

対象： 衆参全議員（参議院選挙立候補者）のうち調査票送付可能な方

※全議員 722 人（衆議院定数（480 人）・参議院定数（242 人）のうち 721 人が対象

方法： 調査票記入による自由回答

調査期間： 2014年6月18日～6月30日

○調査結果

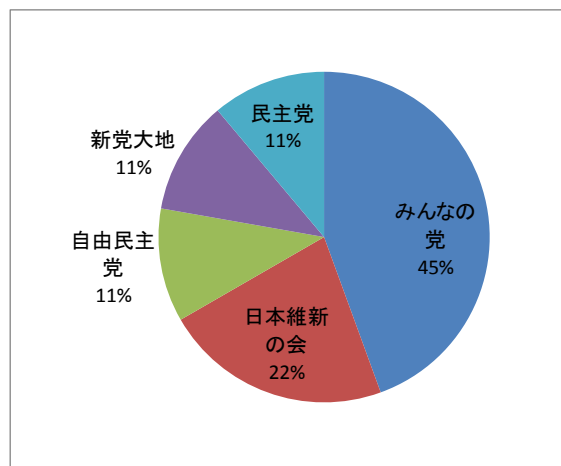
有効回収 9 人（1.25%）

○調査項目

1. WVJ の認知度
2. WVJ のアドボカシーの認知度
3. WVJ のアドボカシーの個別活動の認知度
4. WVJ からの政策提言の有無
5. WVJ から政策提言を受けた分野
6. WVJ からの政策提言による影響
7. MDGs に関する日本政府への要望
8. ポスト MDGs に関する要望
9. 支援すべき ODA 分野
10. WVJ との協力関係

○政党別内訳

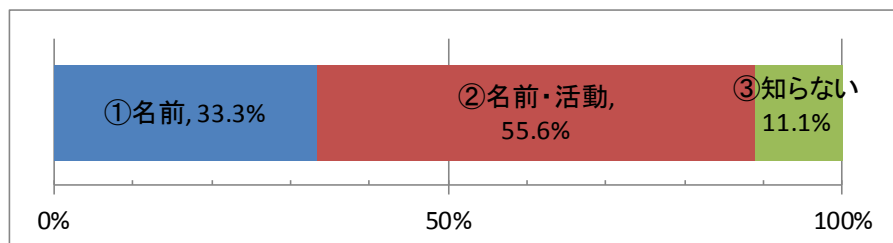
政党名	回答数
みんなの党	4
日本維新の会	2
自由民主党	1
新党大地	1
民主党	1
日本共産党	0
公明党	0
沖縄社会大衆党	0
社会民主党	0
みどりの風	0
無所属	0



質問1. あなたは、途上国の子どもたちを支援している国際NGO「ワールド・ビジョン・ジャパン」についてご存知ですか？

- | | | |
|--------------|----|---------|
| ①名前だけ知っている | 3人 | (33.3%) |
| ②名前も活動も知っている | 5人 | (55.6%) |
| ③知らない | 1人 | (11.1%) |

傾向：ほとんどの方が知っているとの回答であり、名前も活動も知っている方が半数以上を占めた。知らない方は回答者の中では1名のみだった。

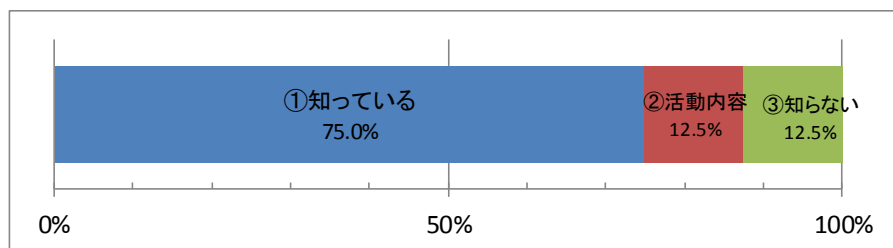


質問2. 質問1に①または②と回答された方のみ

WVJのアドボカシー（市民社会や政府への働きかけを通じて不公正な社会を変革すること）についてご存知ですか？（複数回答可）

- | | | |
|------------------|----|---------|
| ① 実施していることを知っている | 6人 | (75.0%) |
| ② 活動内容を知っている | 1人 | (12.5%) |
| ③ 知らない | 1人 | (12.5%) |

傾向：WVJを知っている方の殆どがアドボカシーを実施していることを知っている。しかし、活動内容を知っている方は1名だけであった。

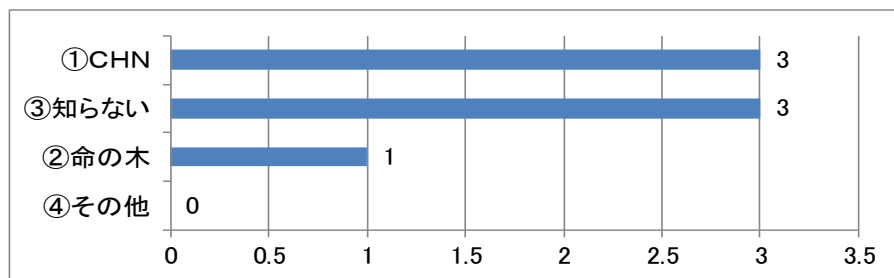


質問3. 質問2に①または②と回答された方のみ

WVJが行っているアドボカシーのうち、ご存知なものを教えてください。（複数回答可）

- | | |
|--|----|
| ① 「Child Health Nowーアクション！救えるはずの命のために」キャンペーン | 3人 |
| ② 命の木プロジェクト | 1人 |
| ③ 知らない | 3人 |
| ④ その他 | 0人 |

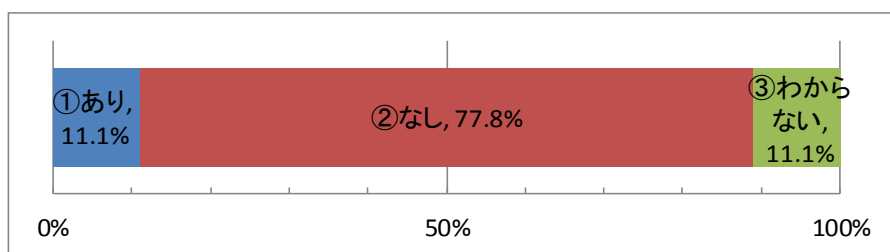
傾向：WVJのアドボカシーを知っている方の内、半数はCHNを知っているが、命の木プロジェクトは1名のみであった。3名はどちらも知らないという結果であった。



質問 4. WVJ から政策提言を受けたことがありますか。

- | | | |
|------------|-----|---------|
| ① 受けたことがある | 1 人 | (11.1%) |
| ② 受けたことがない | 7 人 | (77.8%) |
| ③ わからない | 1 人 | (11.1%) |

傾向：1 名が政策提言を受けたことがある。

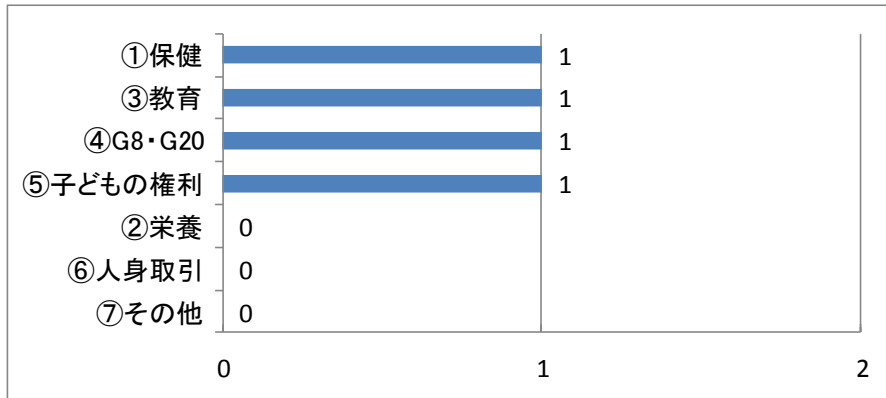


質問 5. 質問 4 に①と回答された方のみ

WVJ からどのような分野における提言を受けましたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------|-----|
| ① 保健 | 1 人 |
| ② 栄養 | 0 人 |
| ③ 教育 | 1 人 |
| ④ G8・G20 サミット | 1 人 |
| ⑤ 子どもの権利 | 1 人 |
| ⑥ 人身取引 | 0 人 |
| ⑦ その他 | 0 人 |

傾向：WVJ から政策提言を受けたことのある方は 1 名であり、その方が保健、教育、G8・G20 サミット、子どもの権利に関する提言を受けたと回答している。

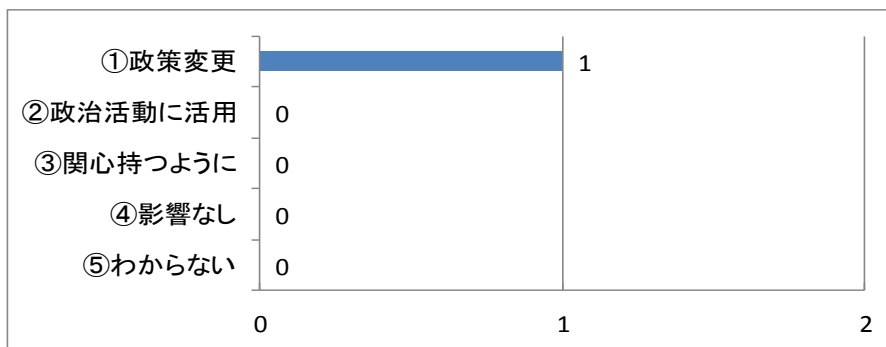


質問 6. 質問 4 に①と回答された方のみ

WVJ の提言により、ご自身の政治活動が影響を受けたことがありますか。

①提言を受け政策変更に向け政治活動を行った	1 人
②提言を受け自身の政治活動に活かした	0 人
③提言を受けたテーマに関心を持つようになった	0 人
④提言を受けたが影響はない	0 人
⑤わからない	0 人

傾向： WVJ から政策提言を受けたことのある方が一人であったが政策変更に向け政治活動を行ったと答えている。

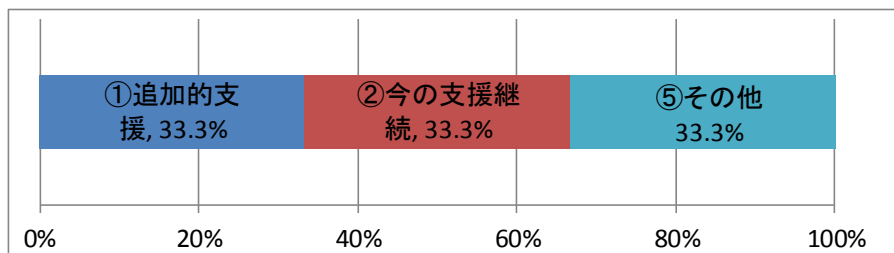


質問 7. ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals : MDGs) のうち、目標 4 「子どもの死亡率の削減」は 2015 年までの目標達成が難しいと言われています。これについて、日本政府はどのようにすべきと考えますか。

①追加的に支援を行うべき	3 人	(33.3%)
②今の支援を継続すべき	3 人	(33.3%)
③対策をとる必要なし	0 人	
④この目標を知らない	0 人	
⑤その他	3 人	(33.3%)

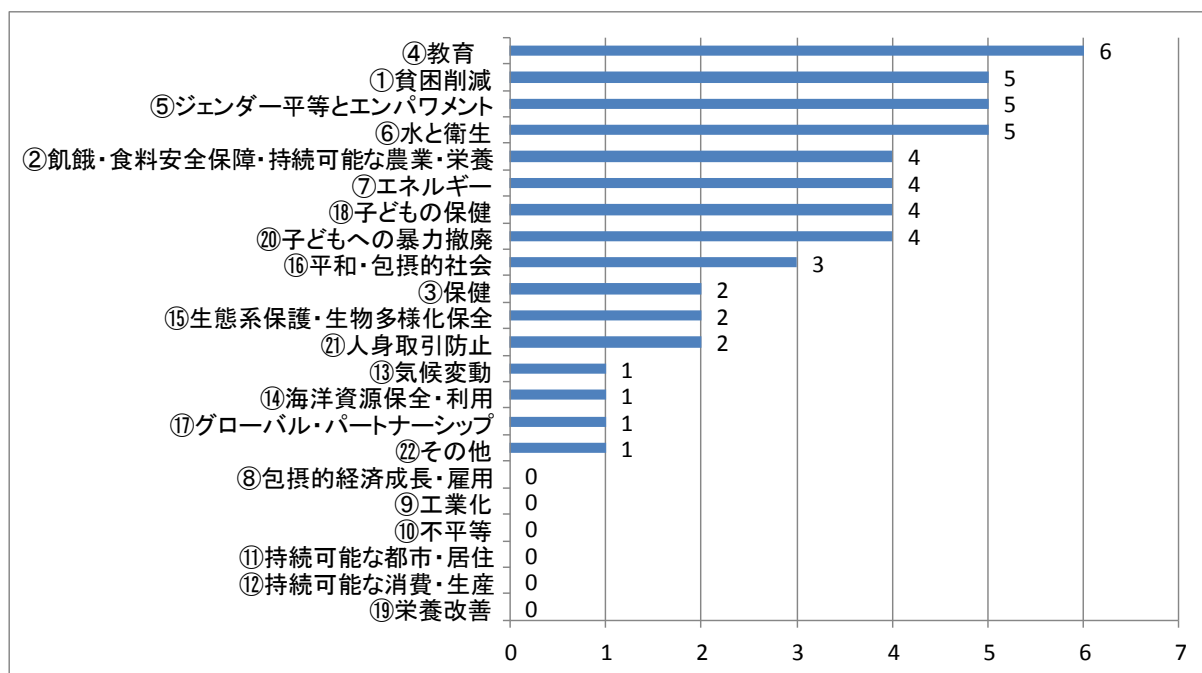
- ・ポスト MDGS に効果的な対策
- ・現場のニーズにそった対応

傾向：33.3%が追加的支援を必要と考えている。また同数が今の支援を継続すべきと回答した。



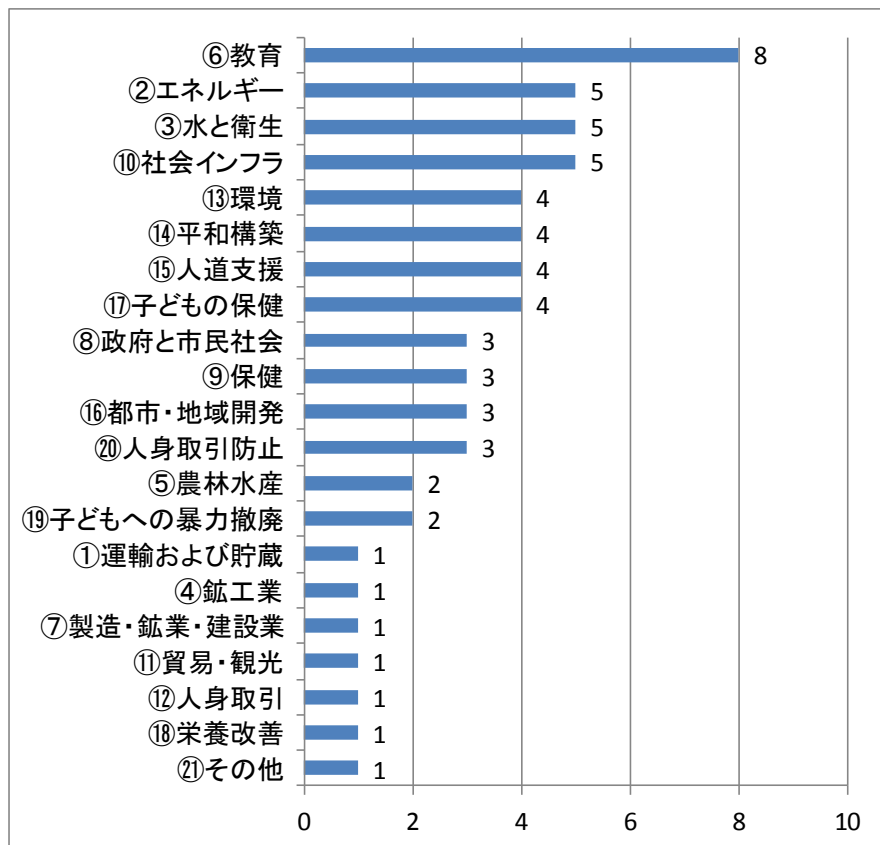
質問 8. 現在、世界のリーダーの間で議論されている MDGs 後の開発目標「ポスト 2015 開発アジェンダ/持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)ではどのような分野の目標が定められるべきだと思いますか。(複数回答可)

傾向：上位から、教育、貧困削減、ジェンダー平等とエンパワーメント、水と衛生、飢餓撲滅・食糧安全保障・持続可能な農業・栄養、エネルギー、子どもの保健、子どもへの暴力撤廃となった。



質問 9. ODA 政策において、日本政府はどの分野に力を入れるべきと考えますか。(複数回答可)

傾向：上位から教育、エネルギー、水と衛生、社会インフラ、環境、平和構築、人道支援、子どもの保健となっている。



質問 10. 今後、WVJ との協力を希望されることがあればお知らせ下さい。(複数回答可)

- ①院内集会・講演会の共同実施 1 人
- ②意見交換 3 人
- ③WVJ からの情報発信 6 人
- ④WVJ のイベントへの参加協力 2 人
- ⑤わからない 0 人
- ⑥その他 0 人

傾向：WVJ からの情報発信を 6 人、意見交換を 3 人が希望している。

